

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 14 日 (2011.7.14)

【公開番号】特開 2009-75566 (P2009-75566A)

【公開日】平成 21 年 4 月 9 日 (2009.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2009-014

【出願番号】特願 2008-193181 (P2008-193181)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 4 9 C

G 0 9 F 9/30 3 4 9 Z

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 26 日 (2011.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板と、

該基板上に、画素領域の周囲に、開口部又は切り欠き部を有する額縁遮光膜と、

前記開口部又は切り欠き部の内側に形成されたアライメントマークと、

前記基板側から前記開口部又は切り欠き部を覆うように形成された遮光膜と

を備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記遮光膜は、前記アライメントマークを構成する材料よりも低い反射率を有する材料を含んで構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記画素領域において互いに交差するデータ線及び走査線を更に備え、

前記遮光膜は、前記データ線又は前記走査線と同一層に形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

前記開口部は、前記基板の隅に開けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

前記アライメントマークは、前記基板上において、前記遮光膜より上層側に形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の電気光学装置を備えることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

[適用例 1] 本適用例の電気光学装置は、基板と、該基板上に、画素領域の周囲に、開口部又は切り欠き部を有する額縁遮光膜と、前記開口部又は切り欠き部の内側に形成されたアライメントマークと、前記基板側から前記開口部又は切り欠き部を覆うように形成された遮光膜とを備えることを特徴とする。